

## 講演会・カンファランス等のご案内

### 北九州地区小児科医会のご案内

#### 第549回北九州地区小児科医会9月例会

日時：2018年9月20日（木）19:00～  
場所：北九州市立商工貿易会館 2階 多目的ホール  
演題：「夜尿症～こんなときどうする?～」  
演者：産業医科大学病院 小児科学講座 斉宮 真理 先生

#### 第550回北九州地区小児科医会10月例会

日時：2018年10月18日（木）19:00～20:30  
場所：北九州市立商工貿易会館 2階 多目的ホール  
演題：「子ども達の受動喫煙と加熱式タバコの  
二次曝露の実態と対策」  
演者：産業医科大学 産業生態科学研究所  
健康開発科学研究室 教授 大和 浩 先生

※8月は例会はお休みです。

### その他講演会などのご案内

#### 平成30年度第1回多職種で考える発達障害と療育研究会

日時：2018年8月29日（水）19:00～21:00  
場所：ウェルとばた2階多目的ホール  
演題1：「北九州市の特別支援教育と就学相談事業」  
演者：教育委員会指導部特別支援教育相談センター  
指導主事 成住きよみ  
演題2：「地域支援室における施設支援について」  
演者：北九州市総合療育センター  
地域支援室 室長 横田信也

#### 八幡産婦人科医会・小児科医会合同学術講演会

日時：2018年8月31日（金）19:00～  
場所：ホテルニュータガワ 3階 「月華」  
特別講演：「周産期の感染症」  
演者：川崎医科大学 産婦人科学群  
産婦人科学教室1群主任 主任教授 下屋 浩一郎 先生

#### 八幡小児科医会 “夏の記念講演会”

日時：2018年9月1日（土）18:00～  
場所：千草ホテル  
特別講演：「気管支喘息とウイルス感染」  
演者：山口大学大学院医学系研究科医学専攻  
小児科学講座教授 長谷川 俊史 先生

#### 平成30年度第1回乳幼児健診登録医療機関研修会

日時：2018年9月25日（火）19:00～  
場所：市立商工貿易会館 2階 「多目的ホール」  
報告：「平成29年度乳幼児健診等結果について」  
演者：北九州市子ども家庭局 子ども家庭部 子育て支援課  
特別講演：「こうすればいい！5歳児健診」  
演者：かねはら小児科 院長 金原 洋治 先生

#### 第415回小倉小児科医会臨床懇話会

日時：2018年9月27日（金）19:00～  
場所：国立病院機構小倉医療センター地域医療研修センター  
演題1：「診断に苦慮した傍結腸内ヘルニアの一例」  
演者：北九州市立医療センター 小児外科 河野 雄紀先生  
演題2：「当科で行っている小児便秘症治療の考え方」  
演者：北九州市立医療センター 小児外科 田口 匠平先生

### 産業医科大学カンファランス・セミナー

#### 第7回八幡地区病院小児科合同カンファレンス

2018年9月10日（月）19:00～  
産業医科大学大学2号館2201教室  
テーマ：緊急の初期対応を要しつつ速やかな確定診断が  
求められた症例の検討  
症例提示  
1. 黄疸を主訴に紹介受診し、凝固系異常を認めたことから  
胆道閉鎖症を疑ったが、拡張した胆管を認めた乳児例  
産業医科大学小児科 川村 卓 先生  
2. 外泊中に鼻出血が止まらず治療方針の決定のため  
速やかな病態の把握が求められたSLEの8歳女児例  
産業医科大学小児科 押田 康一 先生  
済生会八幡総合病院小児科 佐藤 哲司 先生  
3. 異物による窒息で搬送され、呼吸障害が遷延した一例  
JCHO九州病院小児科 足立 俊一 先生

※9月はセミナーはお休みです。

## 保険診療メモ

### 小児抗菌薬適正使用支援加算についてのQ&A

表題の加算については同じようなご質問を多くいただき、また審査の場で査定の対象となる例も少なくありませんので、Q&Aとしてまとめてみました。3月に出された日本医師会の保険改定の説明資料や厚労省の「抗微生物薬適正使用の手引き」については必ずご一読願います。

Q-1：診療科目が小児科であれば算定できますか？

A-1：算定のための施設基準があり、小児科外来診療料（いわゆるまるめ）または小児かかりつけ診療料を算定している医療機関のみ算定できます。出来高制の医療機関は対象外です。また、対象は前述の2つの診療料のどちらかを算定している患者のみとなります。

Q-2：初診時に算定となっていますが、月に2, 3回初診があるときにはその都度算定できますか？

A-2：算定できます。算定する際には初診料の算定が可能かどうかもお確かめください。

Q-3：初診時には抗菌薬の投与は行わなかったのですが、2日後の再診時に投与しました。この場合、遡って初診時の加算は削除するのでしょうか？

A-3：必要ありません（算定できます）。

Q-4：Q-3に関連して、午前中は使用しなかったのですが、午後の受診の際に抗菌剤の必要性を認め、投与しました。この場合も算定可能でしょうか？

A-4：算定できません。初診料である包括化点数は「1日につき」となっているため、初診料算定の日には抗菌剤を使用したこととなります。

Q-5：抗菌剤が含まれている軟膏や点眼液を投与した場合は算定可能ですか？

A-5：局所に使用する外用薬のみ投与した場合は算定できません。全身性に投与する内服、注射、坐剤（薬効分類で611-619、621、624に該当）を併用した場合は算定不可です。

Q-6：「基礎疾患がある場合は算定不可」となっていますが、具体的にはどのような疾患を指しますか？

A-6：原則は「抗生剤の選択に影響を及ぼす疾患」となっていて具体的には示されていません。厚労省への質疑応答で気管支喘息は「基礎疾患あり」とされ、同日に気管支喘息の病名がある場合には算定できません。

Q-7：急性気道感染症や下痢症で「疑い」の場合にも算定できますか？

Q-7：「疑い」病名は算定できません。また、お尋ねの病名は症候名ですので、確定診断であっても不適切です。抗微生物薬適正使用の手引きを参照し、具体的な傷病名を用いてください。

Q-8：急性気道感染症の病名のうち、感冒・鼻炎・副鼻腔炎・中耳炎はすべて対象となりますか？

A-8：中耳炎のみ対象外です。鼻炎でも「アレルギー性鼻炎」は感染症ではありませんので対象外です。

Q-9：おたふくかぜや水痘なども対象となりますか？

A-9：対象外です。厚労省の手引きのフローチャートの冒頭で、流れが「気道症状なし」となりますので対象外です。他にも気道症状のない急性発疹症や下痢のない疾患（嘔吐症など）も対象外です。

Q-10：アデノ、RS、ヒトメタニューモ、ロタ、ノロなどのウイルスに因り、迅速法で診断可能な疾患でも算定可能ですか？

A-10：算定できます。アデノウイルス感染症などではなく、アデノウイルス扁桃炎などとの具体的な傷病名にしてください。ただし、インフルエンザは例外として算定できません。さらに、「インフルエンザ疑い（迅速法が陰性だった場合など）」や、インフルエンザに気管支炎など適応となる疾患が併記してある場合でも算定できません。

Q-11：キャンピロバクタ腸炎には原則抗菌剤を使っていますが、投与しなければキャンピロバクタ腸炎病名でも算定可能ですか？

A-11：算定できます。

(福岡県小児科審査員連絡会)

# 役員会報告 (8月2日：木曜日)

## 協議事項・報告事項

- ① 第55回北九州地区小児科医会総会 (平成31年1月20日)  
特別講演として熊本大学小児科教授 中村公俊 先生に  
お願いし承諾を得ています。
- ②福岡地区小児科医会との懇親会が行われる予定です。  
9月29日に行われる予定となっています。

## 委員会報告

### 1. 学術報告：神菌淳司

今後の講演会の予定です。講演会一覧参照ください。

10月18日に商工貿易会館にて産業医科大学の大和教授に  
受動喫煙関連講演を行って頂く予定です。

11月15日はワクチン関連の予定です。

### 2. ペリネイタルビジット委員会報告：西村慎太郎

平成29年度

出産前後小児保健指導 (ペリネイタルビジット) 事業実績

	紹介件数	指導件数
合計	893	724

(1) 紹介を受けた妊産婦数 (行政区別)

	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	合計
合計	126	343	261	23	22	72	46	893

(2) 指導を受けた妊産婦数 (行政区別)

	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	合計
合計	107	263	225	20	23	46	40	724

(3) 指導を受けた妊婦・産婦内訳 (行政区別)

	妊婦	産婦	合計
門司	0	107(3)	107
小倉北	8	255(18)	263
小倉南	11	214(12)	225
若松	4	16(1)	20
八幡東	2	21(1)	23
八幡西	15	31(0)	46
戸畑	0	40(2)	40
合計	40	684(37)	724

※ ( ) は経産婦数

(4) 実施医療機関数 (紹介)

門司医師会	小倉医師会	若松医師会	八幡医師会	戸畑医師会	産業医科大学病院	合計
2	9	1	6	1	1	20

(5) 実施医療機関数 (指導)

門司医師会	小倉医師会	若松医師会	八幡医師会	戸畑医師会	産業医科大学病院	合計
7	27	5	14	4	1	58

## 委員会報告

### 3. 北九州市小児保健研究会報告：梶原康巨

北九州市小児保健研究会平成30年度第1回理事会が、下記  
のように行われ、委託研究と研修会 (講演会) が、下記のと  
うに最終決定されましたのでお伝えします。

【日時】平成30年7月31日 (火) 19:00~20:50

【会場】北九州市役所 81会議室

平成30年度調査研究事業及び講演会事業計画について

#### (1) 調査研究事業

- 成長曲線・肥満度曲線を利用した成長異常・肥満度異常  
スクリーニング～学校現場での支援と受診率向上のための  
課題～(産業医科大学 山本 幸代 先生より)

《行政が必要とする調査研究に該当》

提案者：北九州地区小児科医会 梶原理事

- 予防接種スケジュールカード導入による任意接種

ワクチン接種率変化の検討

提案者：産業医科大学小児科 荒木理事

- インクルーシブ教育の実現を目的とした北九州市内の  
幼稚園・保育園における先天性心疾患をもつ児の就園及び  
AED普及状況の調査

提案者：産業医科大学小児科 荒木理事

- 子どもの言葉の実態調査について

提案者：北九州市保育士会 北野理事

#### (2) 講演会事業について

【日時】平成30年11月28日 (水) 19時

【会場】ウェルとばた 中ホール (戸畑区汐井町1番6号)

【演題】電子メディアが子どもに及ぼす影響とその対応

～スマホを置いてふれあい遊びを～

【講師】独立行政法人国立病院機構 九州医療センター

小児科 佐藤 和夫 先生

H29年度の第2回理事会において、講演会で参加者から資料  
代を徴収することも懸案となっていました。学術的講演を  
聞く機会への敷居を高くしないよう、資料代徴収につ  
いては、しばらく見合わせる事となりました。